



廃棄物発電の高度化支援事業

平成28年度要求額
260百万円（218百万円）

事業目的・概要等

背景・目的

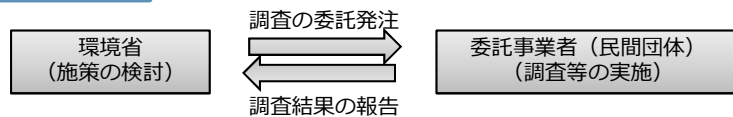
- 東日本大震災以降、エネルギー戦略の見直しが求められており、分散型電源かつ安定供給可能な廃棄物発電の果たす役割への期待は大きい
- 一方で、廃棄物焼却施設における発電効率が諸外国に比べて低いなど、ポテンシャルを十分に発揮できていない
- 地域のエネルギーセンターとして機能を高めるには、電力システム改革に対応し、廃棄物発電による電力供給を安定化・効率化する新たなスキームの構築が必要
- さらに、廃棄物エネルギーの高度利用技術・システムの導入加速化のためには、廃棄物処理施設整備の計画段階でエネルギー利活用と一体的に検討を行うことを促す枠組みが必要

事業概要

- (1) 廃棄物発電のネットワーク化 F S 事業（225百万円）
- (2) 廃棄物エネルギー地域利活用計画策定検討調査（35百万円）

事業スキーム

(1)、(2)ともに民間団体対象

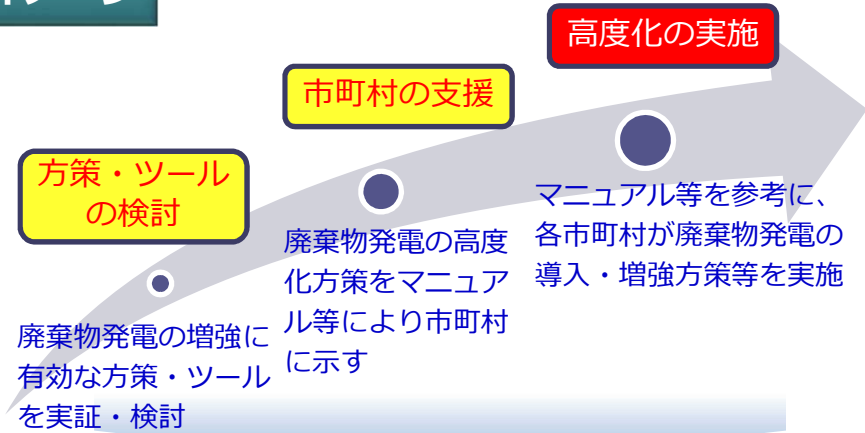


- 実施期間：(1) 平成27～29年度、(2) 平成28～30年度

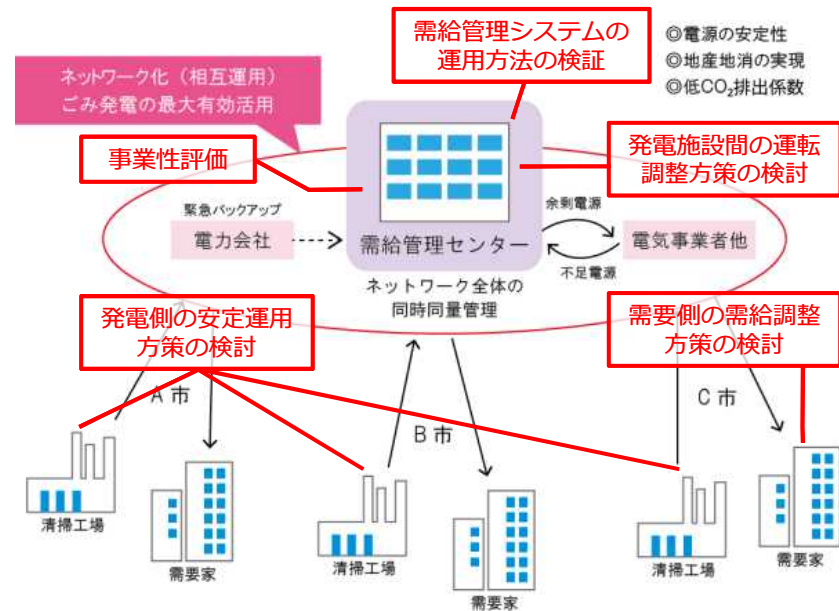
期待される効果

- 廃棄物分野における資源循環、再生可能エネルギー供給が促進される
- 温室効果ガス排出削減等の環境負荷低減が図られる

イメージ



廃棄物処理施設整備の計画段階で
エネルギー利活用と一体的に検討を行う枠組みを創設



廃棄物発電のネットワーク化 F S 事業のイメージ